



平成29年12月期  
第1四半期  
〈1～3月〉

## 連結決算補足資料

平成29年4月24日

**コクヨ株式会社**

(コード番号 7984)

経営管理本部 財務経理部

お問い合わせ先 : 統括部長 永井 琢也

TEL : 06-6976-1221(代表)

URL : <http://www.kokuyo.co.jp/>

# も く じ

1. 損益計算書の状況	
1-1 連結情報	…… P. 1
1-2 売上高	…… P. 2
1-3 売上総利益	…… P. 3
1-4 販売費及び一般管理費	…… P. 4
1-5 営業利益及び経常利益	…… P. 5
1-6 親会社株主に帰属する四半期純利益	…… P. 6
2. 貸借対照表の状況	…… P. 7
3. キャッシュフロー・設備投資の状況	…… P. 8
4. 事業セグメントの損益状況	
4-1 ステーションリー関連事業	…… P. 9
4-2 ファニチャー関連事業	…… P.10
4-3 通販・小売関連事業	…… P.11
5. 29年12月期の見通し	…… P.12
6. 主なトピックス	…… P.13

(注)この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

# 1. 損益計算書の状況

## ◆1-1 連結情報

売上高は、国内でのオフィス家具販売が減収となったことを主要因に、前年同期比1.3%減の898億円となりました。一方、『シェアと粗利率』にこだわる施策の継続的な推進により、売上総利益は330億円、売上総利益率は0.9ポイント向上の36.7%となりました。また、販売費及び一般管理費は、人件費や販促費の増加等により、237億円となりました。以上により、営業利益は前年並みの92億円となりました。経常利益は、為替差損の縮小により前年同期比2.0%増の92億円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産の回収可能性の見直し等により、前年同期比24.3%増の80億円となりました。

(単位:百万円)

	28年12月期 第1四半期	29年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	91,046	89,877	△1,169	△1.3%
売上総利益 (率)	32,626 (35.8%)	33,009 (36.7%)	+383 (+0.9p)	+1.2%
販売費及び一般管理費 (率)	23,414 (25.7%)	23,789 (26.5%)	+375 (+0.8p)	+1.6%
営業利益 (率)	9,212 (10.1%)	9,219 (10.3%)	+7 (+0.1p)	+0.1%
経常利益 (率)	9,088 (10.0%)	9,274 (10.3%)	+186 (+0.3p)	+2.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (率)	6,459 (7.1%)	8,030 (8.9%)	+1,571 (+1.8p)	+24.3%

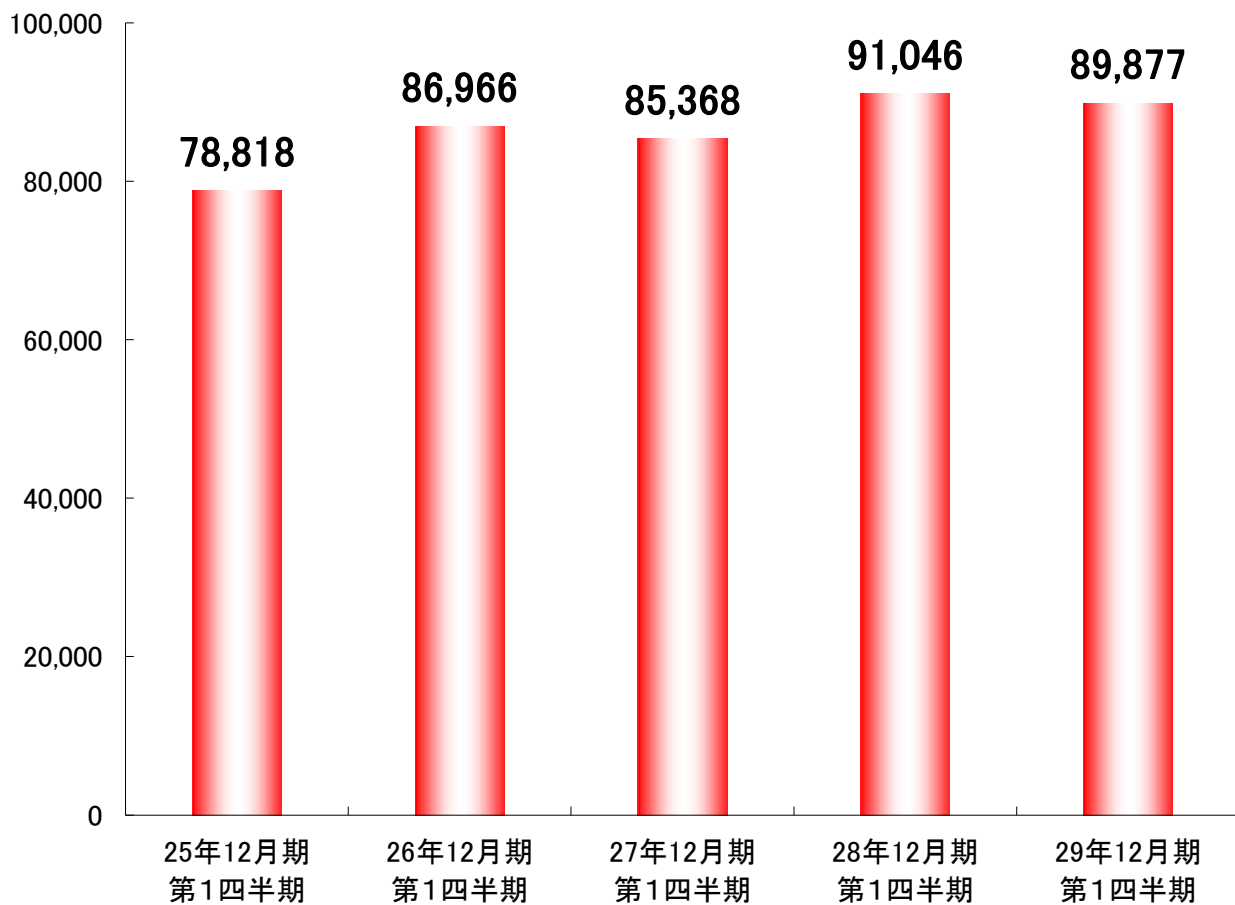
(注)連結子会社21社・持分法適用関連会社1社

# 1. 損益計算書の状況

## ◆1-2 売上高

売上高は、国内でのオフィス家具販売が減収となったことを主要因に、前年同期比1.3%減の898億円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

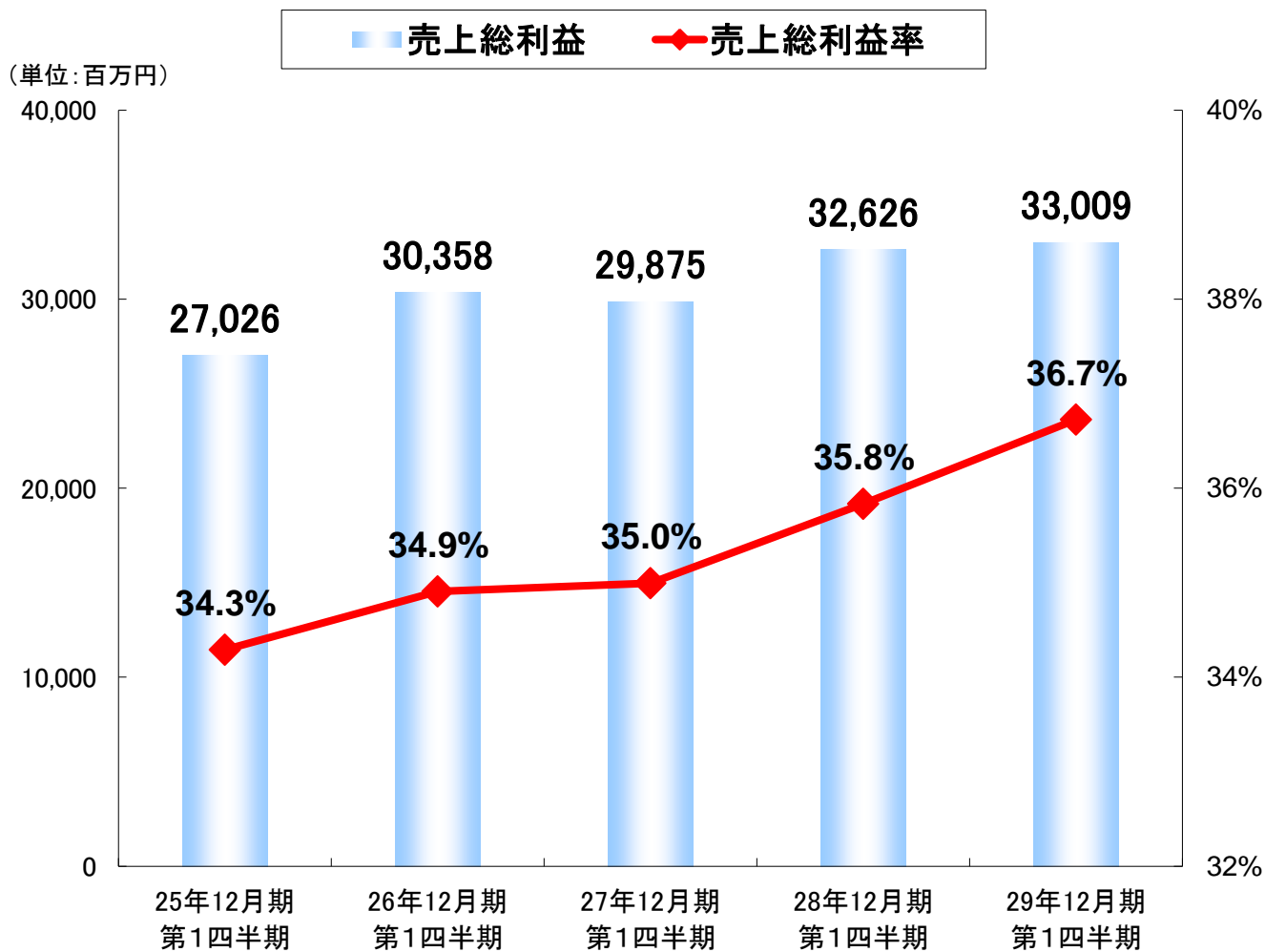
	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	29年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	78,818	86,966	85,368	91,046	89,877	△1,169	△1.3%
売上総利益 (率)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	32,626 (35.8%)	33,009 (36.7%)	+383 (+0.9p)	+1.2%
販売費及び一般管理費 (率)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	23,414 (25.7%)	23,789 (26.5%)	+375 (+0.8p)	+1.6%
営業利益 (率)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	9,212 (10.1%)	9,219 (10.3%)	+7 (+0.1p)	+0.1%
経常利益 (率)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	9,274 (10.3%)	+186 (+0.3p)	+2.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (率)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	8,030 (8.9%)	+1,571 (+1.8p)	+24.3%

# 1. 損益計算書の状況

## ◆1-3 売上総利益

売上総利益は、減収による減少があったものの、売上総利益率の改善により、前年同期比1.2%増の330億円となりました。

売上総利益率は、売上総利益率の高い商品の売上伸長やコストダウンの推進等により、0.9ポイント向上し36.7%となりました。



(単位: 百万円)

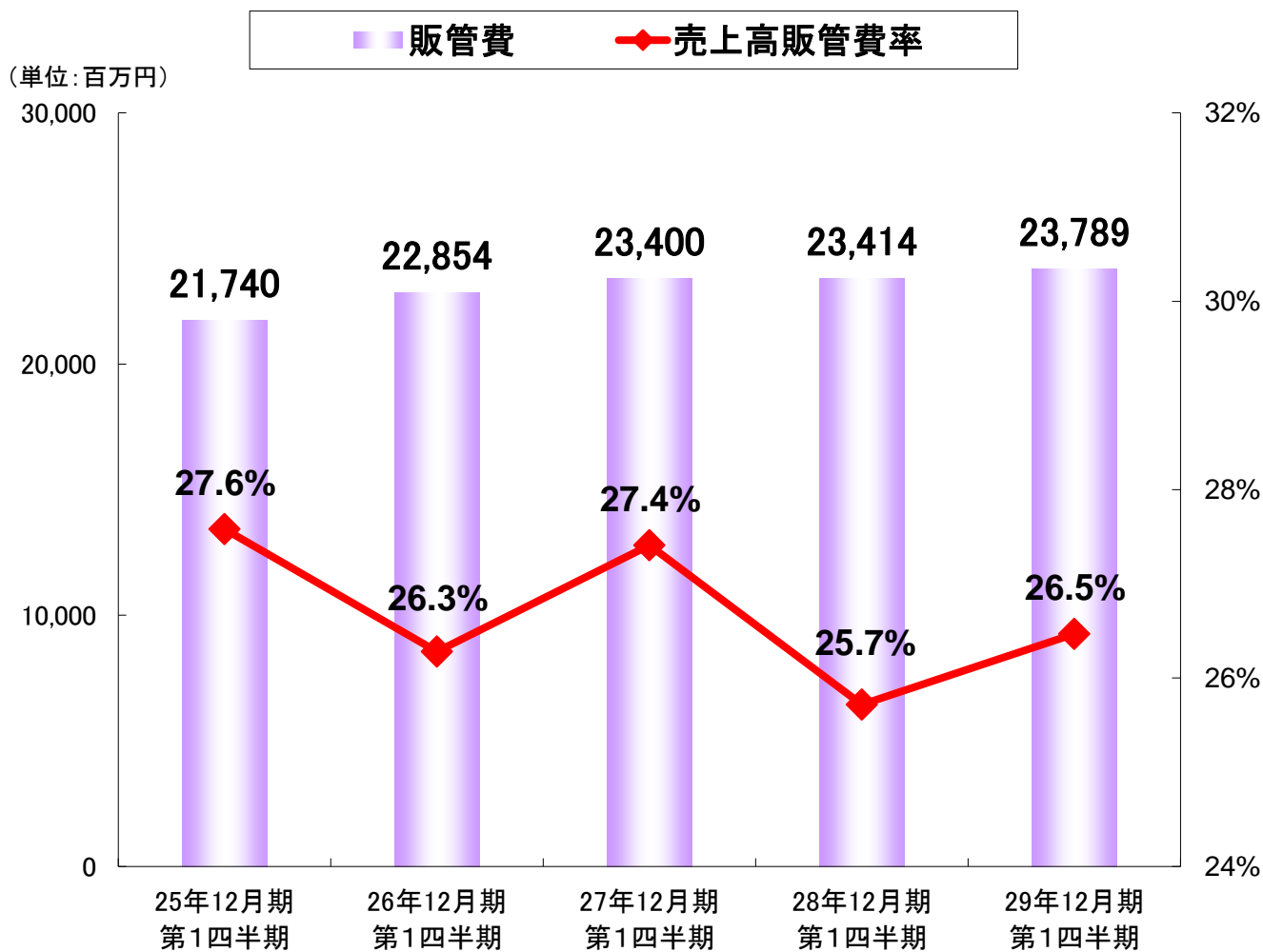
	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	29年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	78,818	86,966	85,368	91,046	89,877	△1,169	△1.3%
売上総利益 (率)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	32,626 (35.8%)	33,009 (36.7%)	+383 (+0.9p)	+1.2%
販売費及び一般管理費 (率)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	23,414 (25.7%)	23,789 (26.5%)	+375 (+0.8p)	+1.6%
営業利益 (率)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	9,212 (10.1%)	9,219 (10.3%)	+7 (+0.1p)	+0.1%
経常利益 (率)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	9,274 (10.3%)	+186 (+0.3p)	+2.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (率)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	8,030 (8.9%)	+1,571 (+1.8p)	+24.3%

# 1. 損益計算書の状況

## ◆1-4 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、人件費や販促費の増加等により、前年同期比1.6%増の237億円となりました。

売上高販管費率は、26.5%と0.8ポイント上昇しました。



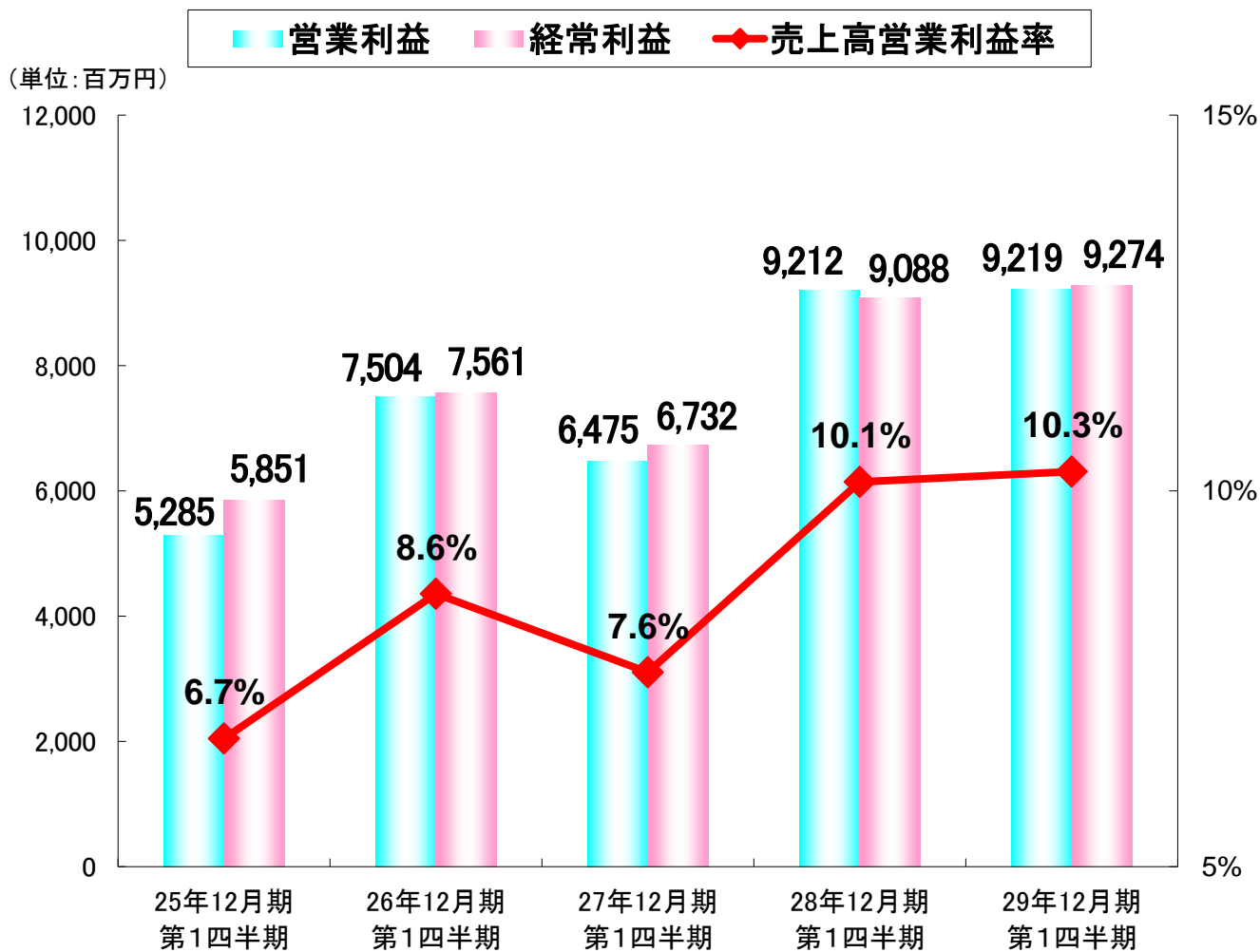
(単位: 百万円)

	25年12月期第1四半期	26年12月期第1四半期	27年12月期第1四半期	28年12月期第1四半期	29年12月期第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	78,818	86,966	85,368	91,046	89,877	△1,169	△1.3%
売上総利益 (率)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	32,626 (35.8%)	33,009 (36.7%)	+383 (+0.9p)	+1.2%
販売費及び一般管理費 (率)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	23,414 (25.7%)	23,789 (26.5%)	+375 (+0.8p)	+1.6%
営業利益 (率)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	9,212 (10.1%)	9,219 (10.3%)	+7 (+0.1p)	+0.1%
経常利益 (率)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	9,274 (10.3%)	+186 (+0.3p)	+2.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (率)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	8,030 (8.9%)	+1,571 (+1.8p)	+24.3%

# 1. 損益計算書の状況

## ◆1-5 営業利益及び経常利益

営業利益は、前年並みの92億円となりました。  
 経常利益は、為替差損の縮小により、前年同期比2.0%増の92億円となりました。



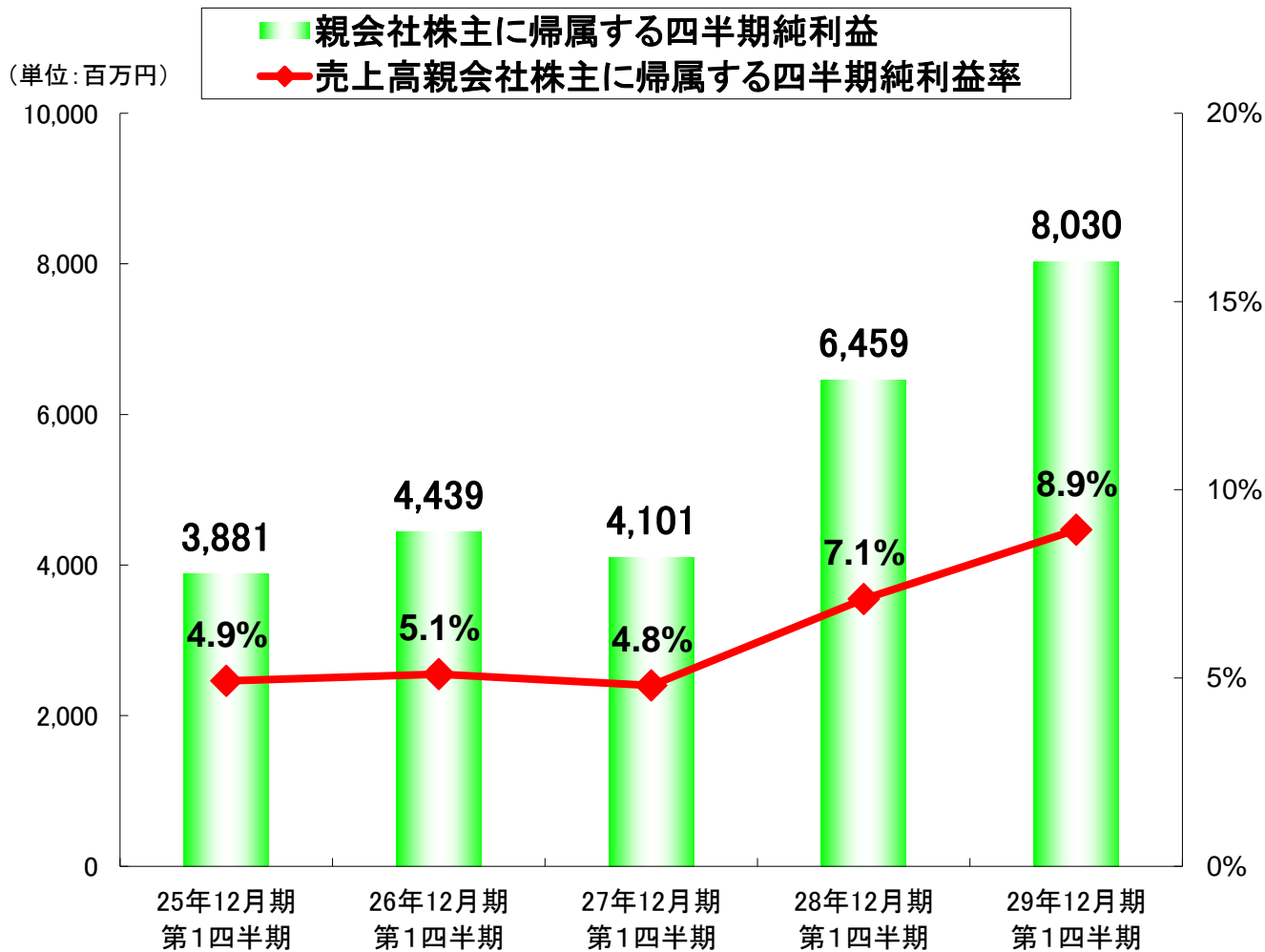
(単位: 百万円)

	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	29年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	78,818	86,966	85,368	91,046	89,877	△1,169	△1.3%
売上総利益 (率)	27,026 (34.3%)	30,358 (34.9%)	29,875 (35.0%)	32,626 (35.8%)	33,009 (36.7%)	+383 (+0.9p)	+1.2%
販売費及び一般管理費 (率)	21,740 (27.6%)	22,854 (26.3%)	23,400 (27.4%)	23,414 (25.7%)	23,789 (26.5%)	+375 (+0.8p)	+1.6%
営業利益 (率)	5,285 (6.7%)	7,504 (8.6%)	6,475 (7.6%)	9,212 (10.1%)	9,219 (10.3%)	+7 (+0.1p)	+0.1%
経常利益 (率)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	9,274 (10.3%)	+186 (+0.3p)	+2.0%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (率)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	8,030 (8.9%)	+1,571 (+1.8p)	+24.3%

# 1. 損益計算書の状況

## ◆1-6 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は、繰延税金資産の回収可能性の見直し等により、前年同期比24.3%増の80億円となりました。



(単位: 百万円)

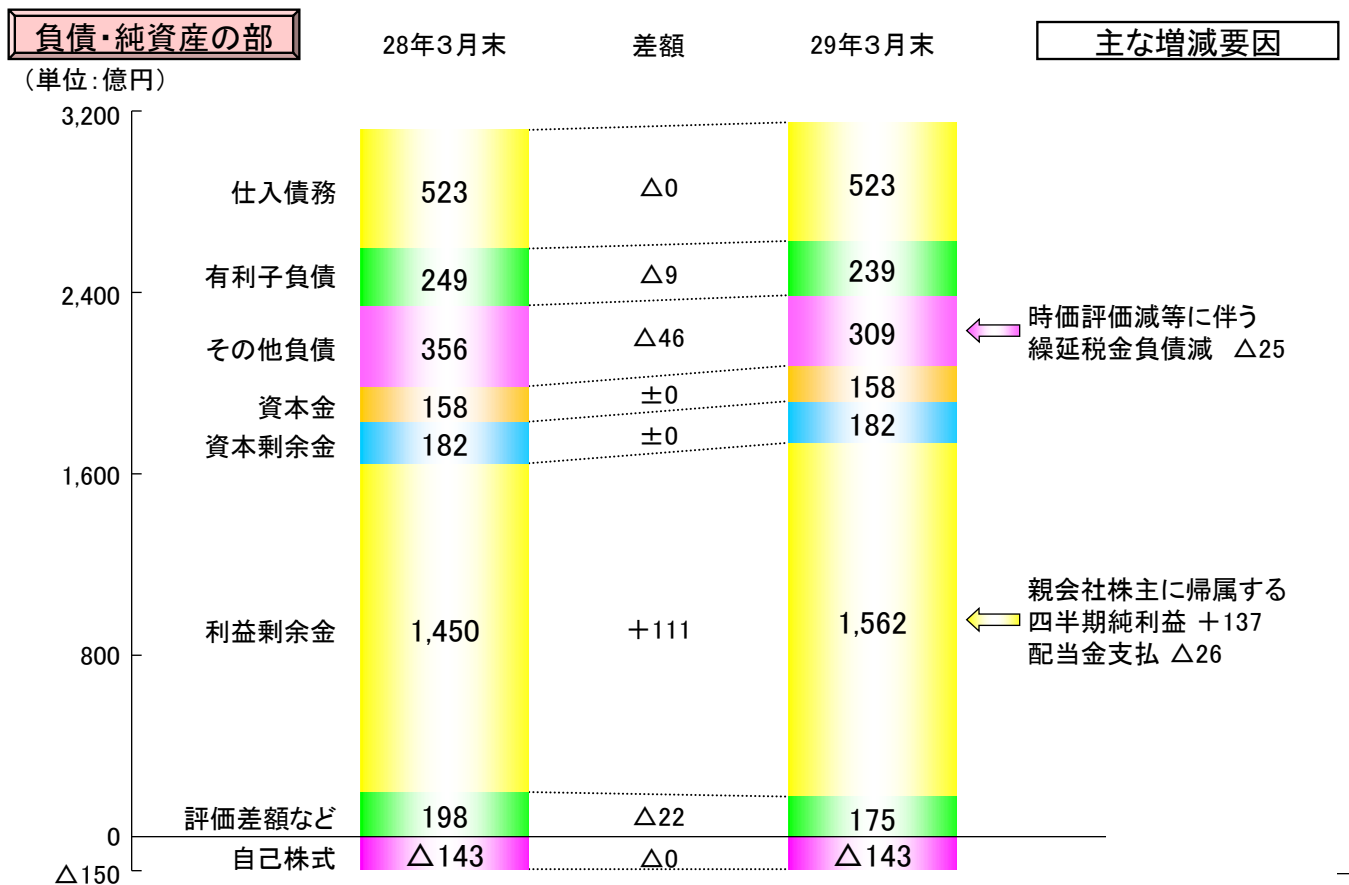
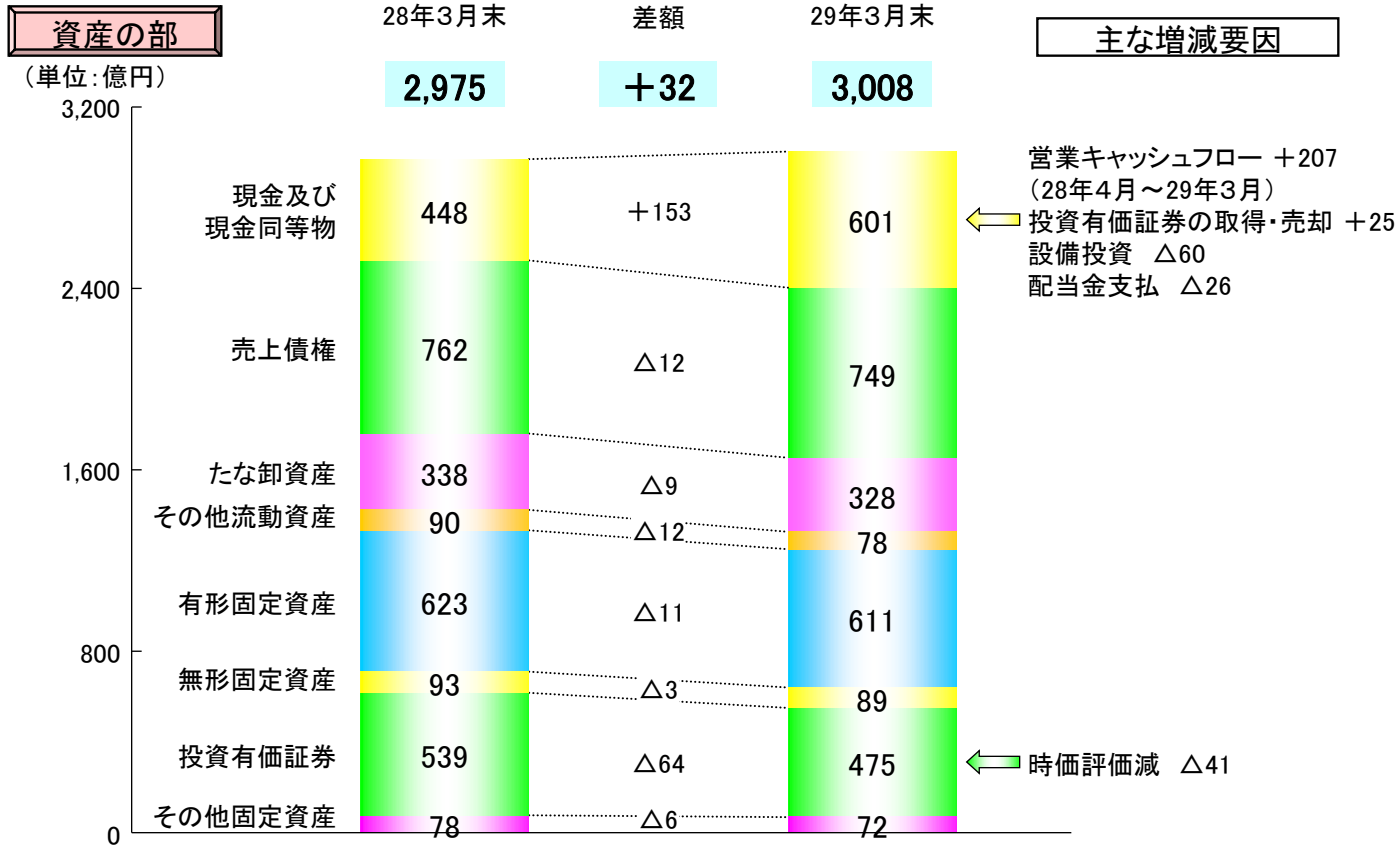
	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	29年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
経常利益 (率)	5,851 (7.4%)	7,561 (8.7%)	6,732 (7.9%)	9,088 (10.0%)	9,274 (10.3%)	+186 (+0.3p)	+2.0%
特別損益	+261	+56	+26	△45	△59	△14	—
特別利益	+261	+56	+1,266	—	—	—	—
特別損失	—	—	△1,240	△45	△59	△14	—
税金等調整前四半期純利益 (率)	6,112 (7.8%)	7,617 (8.8%)	6,758 (7.9%)	9,042 (9.9%)	9,214 (10.3%)	+172 (+0.3p)	+1.9%
法人税等	2,231	3,178	2,656	2,583	1,184	△1,399	△54.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (率)	3,881 (4.9%)	4,439 (5.1%)	4,101 (4.8%)	6,459 (7.1%)	8,030 (8.9%)	+1,571 (+1.8p)	+24.3%



## 2. 貸借対照表の状況

総資産は、前年同期末より32億円増加し、3,008億円となりました。

※比較のため前期の数値は28年12月期第1四半期(28年3月末)を使用しており、決算短信記載の数値と異なります。  
 ※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。



### 3. キャッシュフロー・設備投資の状況

#### <キャッシュフロー>

営業キャッシュフローは△42億円、投資キャッシュフローは△10億円となり、フリーキャッシュフロー(※)は△53億円となりました。  
また、財務キャッシュフローは△17億円となりました。

以上の結果、当期末の現金及び現金同等物は、期首から71億円減少し、601億円となりました。

(※) フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー

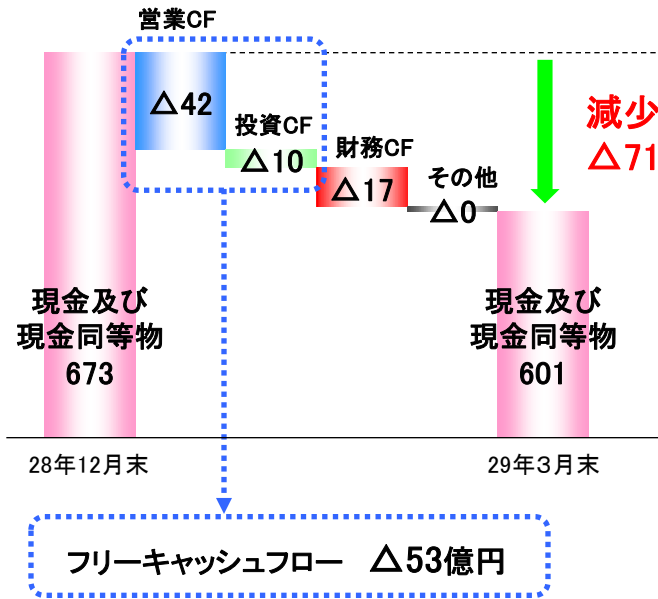
#### <設備投資>

設備投資は、14億円を実施しました。

※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。

#### □ 現金及び現金同等物の増減内訳 29年12月期 <1～3月>

(単位:億円)



#### □ キャッシュ・フロー計算書

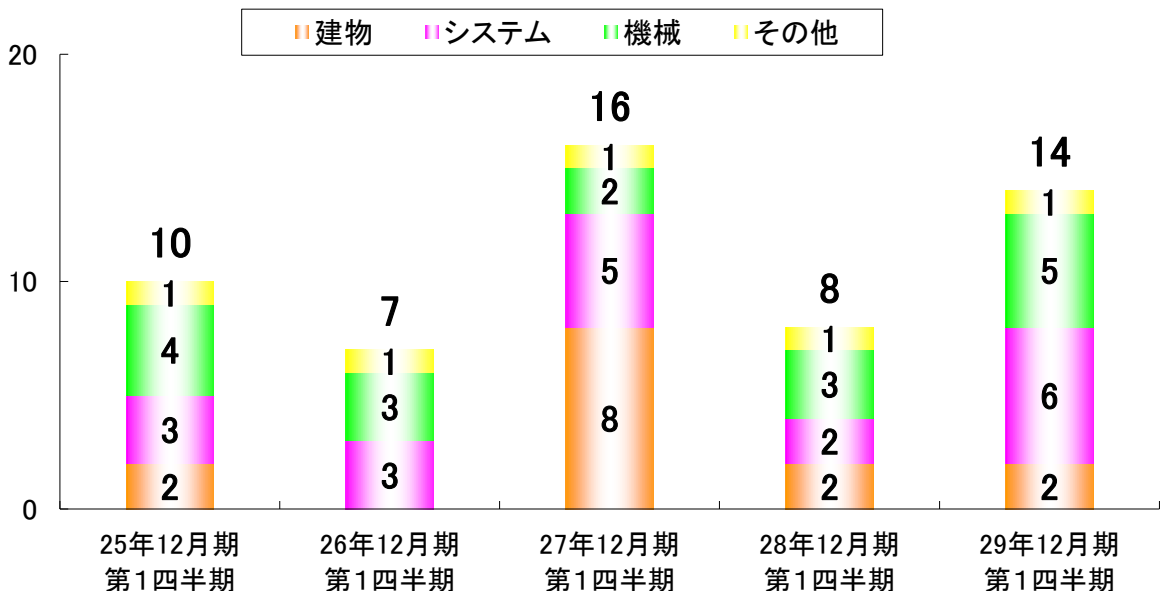
29年12月期 <1～3月>

(単位:億円)

◆営業キャッシュフロー	△42
税金等調整前四半期純利益	+92
減価償却費	+16
債権債務の増減	△105
たな卸資産の増減	△24
法人税等の支払	△24
その他	+3
◆投資キャッシュフロー	△10
投資有価証券の取得、売却	+5
設備投資	△14
その他	△1
◆財務キャッシュフロー	△17
配当金の支払	△17
リース債務の返済	△3
その他	+2

#### □ 設備投資の推移

(単位:億円)



## 4. 事業セグメントの損益状況

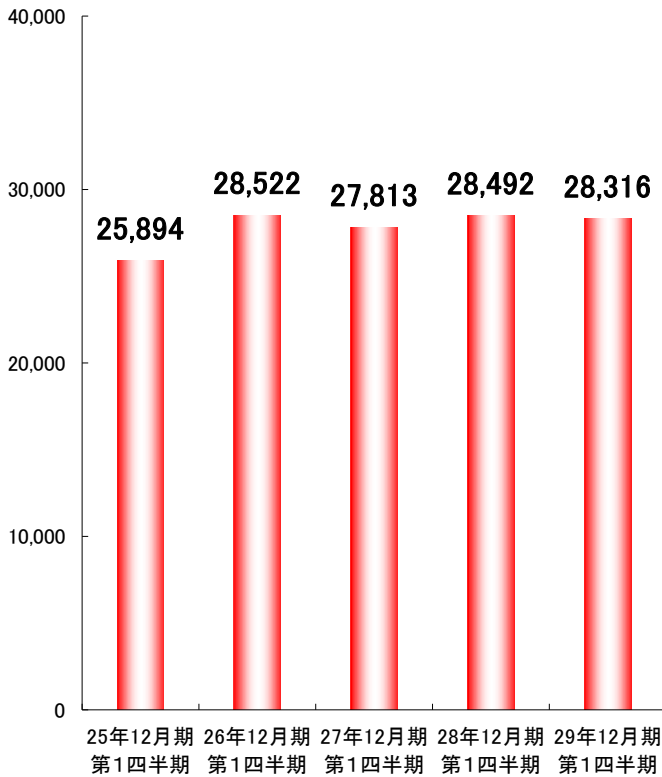
### ◆4-1 ステーションナリー関連事業

売上高は、海外事業は堅調に推移したものの国内事業が減収となり、前年同期比0.6%減の283億円となりました。

営業利益は、国内の新基幹システム稼働に伴う経費の増加があったものの、売上総利益率の高い商品の売上伸長やコストダウンの推進等により売上総利益が増加し、前年同期比12.6%増の33億円となりました。

#### 売上高

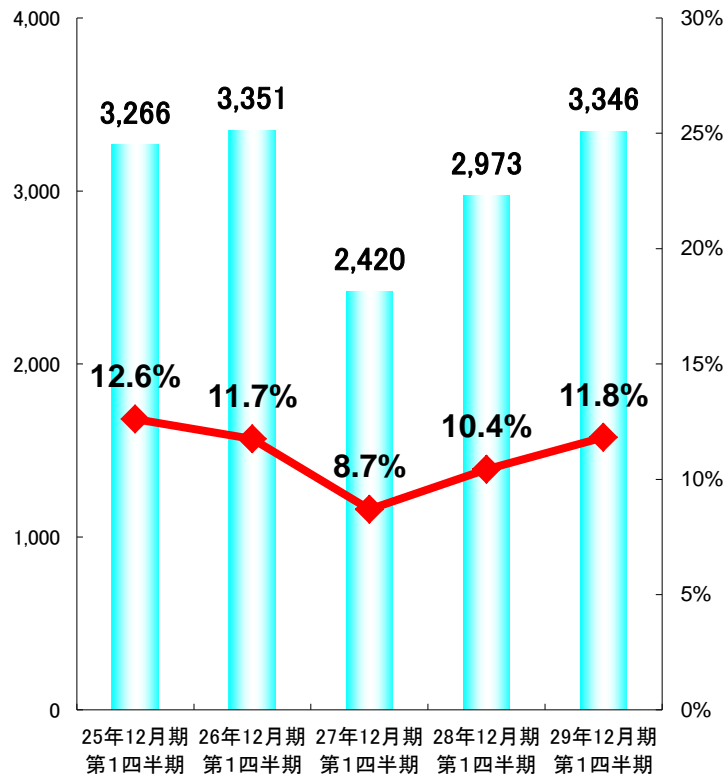
(単位:百万円)



#### 営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	29年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	25,894	28,522	27,813	28,492	28,316	△176	△0.6%
営業利益 (率)	3,266 (12.6%)	3,351 (11.7%)	2,420 (8.7%)	2,973 (10.4%)	3,346 (11.8%)	+373 (+1.4p)	+12.6%

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

※当社は、平成27年10月1日付の連結子会社2社との合併に伴い、純粋持株会社から事業会社に移行したため、平成28年12月期より、連結子会社に対するグループ経営運営料の徴収を廃止しております。

## 4. 事業セグメントの損益状況

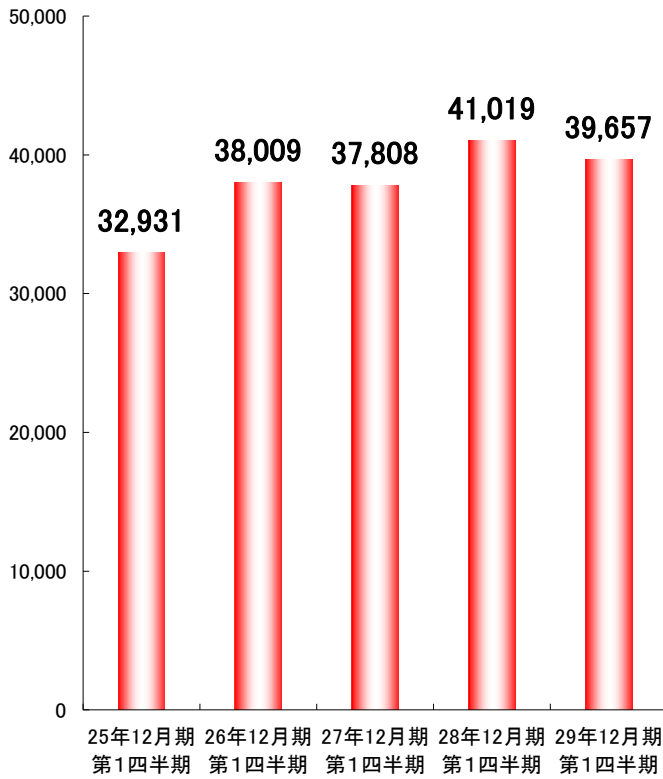
### ◆4-2 ファニチャー関連事業

売上高は、国内でのオフィス家具販売が、前年からの海外情勢や景気の先行き不透明感によるオフィス投資意欲停滞等により、3月に入り好転の兆しが見えてきたものの減収となり、前年同期比3.3%減の396億円となりました。

営業利益は、減収に伴う売上総利益の減少により、前年同期比3.7%減の59億円となりました。

#### 売上高

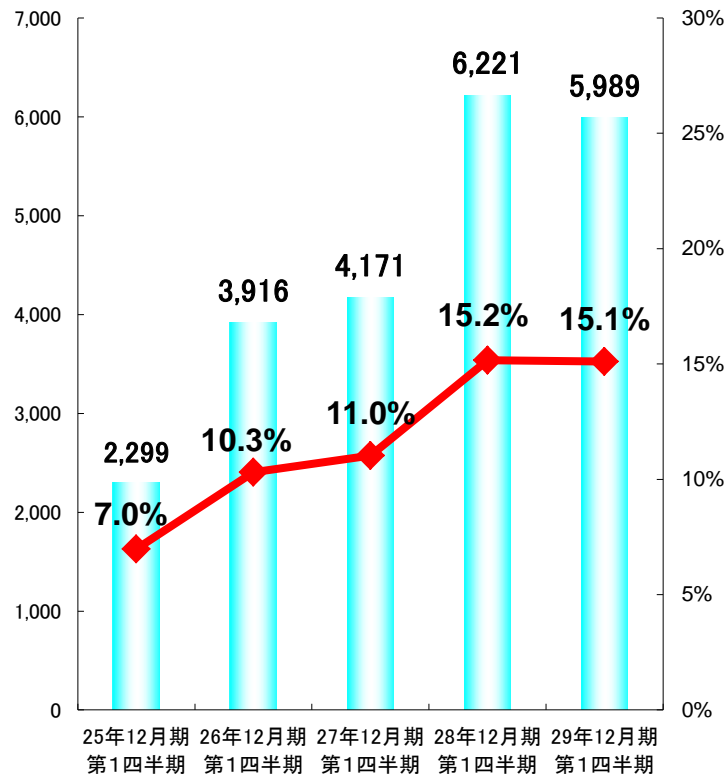
(単位:百万円)



#### 営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	29年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	32,931	38,009	37,808	41,019	39,657	△1,362	△3.3%
営業利益 (率)	2,299 (7.0%)	3,916 (10.3%)	4,171 (11.0%)	6,221 (15.2%)	5,989 (15.1%)	△232 (△0.1p)	△3.7%

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

※当社は、平成27年10月1日付の連結子会社2社との合併に伴い、純粋持株会社から事業会社に移行したため、平成28年12月期より、連結子会社に対するグループ経営運営料の徴収を廃止しております。

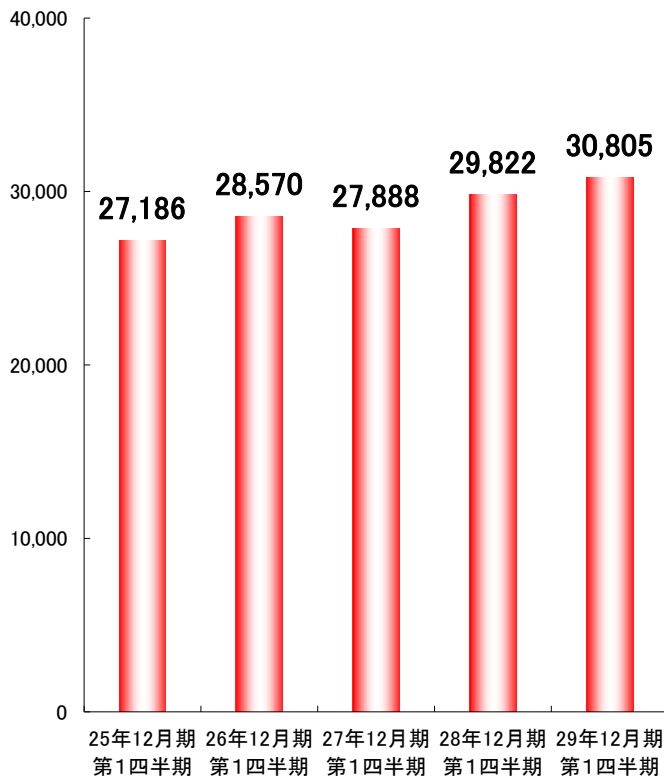
## 4. 事業セグメントの損益状況

### ◆4-3 通販・小売関連事業

売上高は、カウネット及びアクタスとも増収となり、前年同期比3.3%増の308億円となりました。  
営業利益は、増収に伴う売上総利益の増加により、前年同期比19.6%増の12億円となりました。

### 売上高

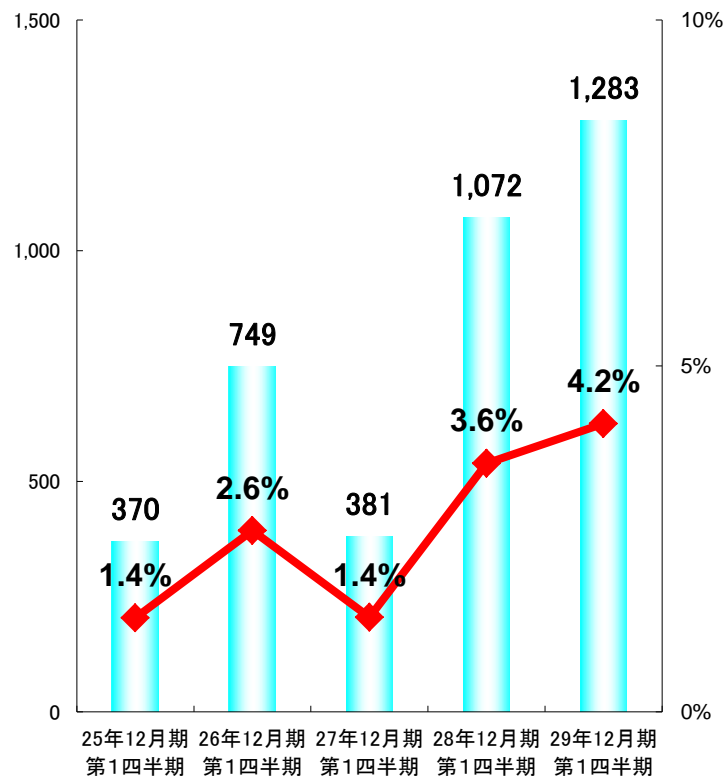
(単位:百万円)



### 営業利益

(単位:百万円)

◆ 売上高営業利益率



(単位:百万円)

	25年12月期 第1四半期	26年12月期 第1四半期	27年12月期 第1四半期	28年12月期 第1四半期	29年12月期 第1四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	27,186	28,570	27,888	29,822	30,805	+983	+3.3%
営業利益 (率)	370 (1.4%)	749 (2.6%)	381 (1.4%)	1,072 (3.6%)	1,283 (4.2%)	+211 (+0.6p)	+19.6%

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

※当社は、平成27年10月1日付の連結子会社2社との合併に伴い、純粋持株会社から事業会社に移行したため、平成28年12月期より、連結子会社に対するグループ経営運営料の徴収を廃止しております。

## 5. 29年12月期の見通し

当第1四半期連結累計期間の業績及び現時点における第2四半期の業績見込みを踏まえ、平成29年12月期の第2四半期連結累計期間の業績予想を修正しました。

なお、平成29年12月期の通期の業績予想は、今後の市場動向及び事業環境が不透明であることから、据え置きますが、変動が生じた場合、速やかにお知らせします。

### 第2四半期累計

(単位: 百万円)

	28年12月期 第2四半期累計 実績 (6ヶ月)	29年12月期 第2四半期累計 予想 (6ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率	(ご参考) 当初予想
売上高	165,484	167,000	+1,516		+0.9%	167,000
ステーションリー	53,221	53,000	△221		△0.4%	53,000
ファニチャー	70,419	70,600	+181		+0.3%	72,700
通販・小売	57,552	60,000	+2,448		+4.3%	59,100
調整額	△ 15,709	△ 16,600	△891		-	△ 17,800
営業利益(率)	12,285 (7.4%)	12,000 (7.2%)	△285	△0.2p	△2.3%	11,500
ステーションリー(率)	4,566 (8.6%)	4,600 (8.7%)	+34	+0.1p	+0.7%	4,100
ファニチャー(率)	7,815 (11.1%)	7,850 (11.1%)	+35	+0.0p	+0.4%	8,000
通販・小売(率)	2,343 (4.1%)	2,700 (4.5%)	+357	+0.4p	+15.2%	2,350
調整額	△ 2,439	△ 3,150	△711		-	△ 2,950
経常利益(率)	11,462 (6.9%)	12,500 (7.5%)	+1,038	+0.6p	+9.1%	12,000
親会社株主に帰属する 四半期純利益(率)	8,276 (5.0%)	9,900 (5.9%)	+1,624	+0.9p	+19.6%	9,600

### 通期

(単位: 百万円)

	28年12月期 通期 実績 (12ヶ月)	29年12月期 通期 予想 (12ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率
売上高	307,625	316,000	+8,375		+2.7%
ステーションリー	97,115	98,100	+985		+1.0%
ファニチャー	127,418	133,800	+6,382		+5.0%
通販・小売	113,429	116,400	+2,971		+2.6%
調整額	△ 30,338	△ 32,300	△1,962		-
営業利益(率)	15,438 (5.0%)	16,000 (5.1%)	+562	+0.0p	+3.6%
ステーションリー(率)	6,712 (6.9%)	6,500 (6.6%)	△212	△0.3p	△3.2%
ファニチャー(率)	10,541 (8.3%)	11,900 (8.9%)	+1,359	+0.6p	+12.9%
通販・小売(率)	3,592 (3.2%)	3,800 (3.3%)	+208	+0.1p	+5.8%
調整額	△ 5,407	△ 6,200	△793		-
経常利益(率)	15,690 (5.1%)	16,300 (5.2%)	+610	+0.1p	+3.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益(率)	12,182 (4.0%)	12,500 (4.0%)	+318	△0.0p	+2.6%

※この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 現代のオフィスに適した機能・デザイン・カラーの 「フラットファイル〈NEOS〉」を発売

当社のフラットファイルは、昭和31年(1956年)に販売を開始し、昨年(2016年)、60周年を迎えました。時代に合わせた商品改良や品種拡充を重ね、累計50億冊以上を販売しているロングセラー商品で、紙質と耐久性にこだわった高い品質が評価されています。

新シリーズの「フラットファイル〈NEOS〉」は、お客様に評価いただいている価値はそのままに、ワークスタイルの変化に合わせて、機能・デザイン・カラーを刷新しています。

表紙のサイズはセミワイドサイズなので、2穴クリヤーポケットを綴じてもはみ出さず、穴を開けられない書類も合わせて管理ができます。

また、表紙デザインは、縦横どちらでもラベリングができるようになっており、横型の資料をとじるのにも使いやすくなっています。

さらに、主張しすぎないシックなカラーラインアップとすることで、様々なテイストのオフィスにマッチするよう配慮しています。



表紙色:(左から)  
ターコイズブルー、オリーブグリーン、ブルーグレー、  
ワインレッド、オフホワイト

## ～簡単、置くだけのワンユニット～ スクリーンブース「inframe(インフレーム)」を発売

当社は、居心地のよいリビングテイストの執務空間を構成できるスクリーンブース「inframe(インフレーム)」を発売しました。

「inframe」は、オフィスを心地良くする3つの視点として、「人中心の過ごしやすさ」「緩やかにつながる」「モードで選ぶ」をコンセプトに開発した新しい発想のスクリーンブースで、足元の抜けた浮遊感のある軽快なデザインとやわらかな触り心地の面材を採用しています。

ワーカーが心地よく過ごせ、周囲との緩やかなつながりを感じさせる空間を演出します。



写真:(左から)

- ・チェアースクリーンブース・・・アクティブに議論しやすいスタンダードブース。
- ・ソファースクリーンブース・・・ゆったりと会話のしやすいテーブル&ソファ一体型のミーティングブース。
- ・集中スクリーンブース・・・適度に囲われて、圧迫感を感じずに集中できる、1人用ブース。
- ・ユーティリティースクリーンブース・・・コピーコーナーなどの囲いに。オフィス内のパーティションを同じ意匠で揃えられます。

### ～「カウコレ」プレミアム新商品 約450品番追加～ 「カウネットカタログ2017年春夏号(第33号)」を発刊

株式会社カウネットは、「カウネットカタログ2017年春夏号(第33号)」を発刊しました。今回のカタログでは、これまで別冊でお届けしていた「家具カタログ」と「お困りごと解決BOOK」を本カタログに統合させることで、商品を探す際とカタログを保管する際の利便性を向上させています。

また、カウネットオリジナル商品「カウコレ」シリーズのうち、お客様のお困りごとを解決するためにカウネットが独自に工夫した“「カウコレ」プレミアム”は、約450品番の新商品を追加し、計約2,800品番を、毎日使う消耗品をお求めやすい価格でご提供する“「カウコレ」プライス”は約4,500品番を取り扱っています。



写真:「カウコレ」プレミアムの新商品 一例  
(左)「四隅が傷みにくい背補強フラットファイル」  
背補強に加え、表紙の四隅も補強した  
フラットファイル  
(右)「ラクにはがせる透明PPテープ」  
テープの両端が無粘着になっているため、  
手でつまみやすく、はがしやすいPPテープ

### ～デリスタイルのカフェを併設～ アクタス・あべの店「あべのand」にOPEN

株式会社アクタスは、アクタス・あべの店を「あべのハルカス」から「あべのand」に場所を移し、3月15日に拡大オープンしました。

新しくオープンしたあべの店は「家族とのコミュニケーション」をキーワードに、小さいお子様がアクタスの商品を体験しながら楽しめるスペースを新設するなど、家族の団欒、親子の会話が弾む空間提案とインテリアアイテムを更に充実させました。

また、同店舗には「地産地消」をテーマに、神戸・大阪など近畿エリアを中心に収穫される旬な食材を使ったアクタスでは初めてのデリスタイルのカフェ「SOHOLM CAFÉ+DELI(スーホルムカフェアンドデリ)」を併設しています。



アクタス・あべの店



SOHOLM CAFÉ+DELI